

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営201	組織行動論	2	2-0	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営202	経営組織論	2	2-0	2	前又は後	経営組織のマネジメントに関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるよう事例分析などを行う。
経営203	観光情報論	2	2-0	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
経営205	会計学	2	2-0	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
経営206	流通原論	2	2-0	2	前又は後	製品が生産され地点に至るまでの過程を分析し考察していく。
経営207	経営情報論	2	2-0	2	前又は後	企業経営に不可欠な情報を体系的に学習し、情報システム構築の基礎を理解する。
経営208	消費者行動論	2	2-0	2	前又は後	消費者行動に対する様々な理論や概念を学び、課題やディスカッションを通じて実際の消費者行動を分析するとともに、消費行為に対する理解を深める。
経営301	経営戦略論	2	2-0	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	2-0	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	2-0	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
経営304	広告論	2	2-0	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説する。受講生の提案練習も行う。
経営307	原価計算論	2	2-0	3	前又は後	事業体(主に企業)における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。
経営308	税務会計論	2	2-0	2	前又は後	法人税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営211	人的資源管理論	2	2-0	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営213	ベンチャー企業論	2	2-0	2	前又は後	経営戦略が有効なものであればベンチャー企業は競争優位を獲得できるという枠組みに基づき、ベンチャー企業のマネジメントについて、特に経営戦略を中心に解説していく。
経営222	ホテル経営論	2	2-0	2	前又は後	国内・外ホテルの経営戦略及び実践手法について講義する。
経営225	物流サービス論	2	2-0	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
経営226	Tourism Development	2	2-0	2	前又は後	島嶼地域であるハワイの観光産業の現状と課題を通して、持続可能な観光開発のあり方について学ぶ。
経営311	競争戦略論	2	2-0	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
経営312	コーポレートファイナンス 実践編	2	2-0	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する。
経営313	応用簿記論	4	4-0	2	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。
経営314	財務会計	2	2-0	2	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
経営316	簿記論演習	2	2-0	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級簿記の講義を行う。
経営317	財務会計論演習	2	2-0	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級財務会計の講義を行う。
経営318	管理会計論	2	2-0	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
経営319	数字で学ぶビジネス	2	2-0	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。
経営320	中小企業論	2	2-0	3	前又は後	中小企業の機能と意義および中小企業の歴史、現状、今後の展望について、理論的・実証的に学ぶ。
経営321	市場調査論	2	2-0	3	前又は後	経営やマーケティングに関連する様々な課題に対して、適切な調査方法と内容を企画し、そして、その調査の結果から意味を読み取る手法を紹介し学習する。
経営400	卒業研究	2	0-2	4	後	大学生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営353	実践経営学Ⅰ	2	2-0	2～4	前又は後	上場企業の経営法務(株主総会やコーポレートガバナンス等)に関する知識習得と実務的アプローチについて、実務家講師を招待して実施する講義である。
経営354	実践経営学Ⅱ	2	2-0	2～4	前又は後	経営学に関する実践的なトピックスについて学ぶ。テーマは開講年次によって変更するので、シラバスは必ずチェックすること。
経営355	実践経営学Ⅲ	2	2-0	2～4	前又は後	現行の会計の枠組みを学習する座学と、税理士事務所で会計事務所の社会的役割と業務内容について学ぶ職務体験としてのインターシップを組ませた講義
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営201	組織行動論	2	2	前又は後		経営301	経営戦略論	2	3	前又は後	
経営202	経営組織論	2	2	前又は後		経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
経営203	観光情報論	2	2	前又は後		経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
経営205	会計学	2	2	前又は後		経営304	広告論	2	3	前又は後	
経営206	流通原論	2	2	前又は後		経営307	原価計算論	2	3	前又は後	
経営207	経営情報論	2	2	前又は後		経営308	税務会計論	2	2	前又は後	
経営208	消費者行動論	2	2	前又は後							

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		経営314	財務会計	2	2	前又は後	
経営213	ベンチャー企業論	2	2	前又は後		経営316	簿記論演習	2	2	前又は後	
経営222	ホテル経営論	2	2	前又は後		経営317	財務会計論演習	2	3	前又は後	
経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		経営318	管理会計論	2	3	前又は後	
経営226	Tourism Development	2	2	前又は後		経営319	数字で学ぶビジネス	2	3	前又は後	
経営311	競争戦略論	2	3	前又は後		経営320	中小企業論	2	3	前又は後	
経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後		経営321	市場調査論	2	3	前又は後	
経営313	応用簿記論	4	3	前又は後		経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目

注1：卒業研究は必修

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営353	実践経営学Ⅰ	2	2～4	前又は後	
経営354	実践経営学Ⅱ	2	2～4	前又は後	
経営355	実践経営学Ⅲ	2	2～4	前又は後	
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：地域国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

卒業要件 経営プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分			必修	選択	選択必修
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2		
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合科目	4	6	
		琉大特色科目・地域創生科目			
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語（英語）	8		
		第2外国語	4		
小計			24	6	
共通教育科目総計			30		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	10	4	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			2
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	2	30	
		地域・国際実践力科目	8	4	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			28	
	小計			20	72
専門教育科目総計			94		
総単位数			124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	総合、琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
基幹領域	第1外国語（英語）	8単位以上
	第2外国語	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び基幹領域 （※上記の6単位以上には、外国語以外を2単位以上含むこと）		6単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

注2) 第1外国語は英語とし、「大学英语」、「英語講義演習中級」、及び選択科目から1科目の8単位を履修すること。

- 専門教育科目は94単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は以下のとおり、合計22単位以上を履修すること。

○専門基盤力科目は、合計14単位以上履修すること。ただし、

- ・基礎演習(2単位)は、必ず履修すること。
- ・経営プログラム提供の、経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)、簿記入門(4単位)の3科目(計8単位)は、必ず履修すること。
- ・他プログラムが提供している専門基盤力科目のうち、少なくとも2つのプログラムの科目について、それぞれ1科目以上(計4単位以上)履修すること。

○地域・国際基盤力科目は、合計8単位以上履修すること。ただし、

- ・プログラム系科目を6単位以上履修すること。
- ・プログラム複合科目(選択必修)を2単位以上履修すること。

(2) プログラム専門科目は以下のとおり、合計44単位以上を履修すること。

○経営プログラム専門科目は、合計32単位以上履修すること。ただし、

- ・卒業研究(2単位)は、必ず履修すること。

○地域・国際実践力科目は、合計12単位以上を履修すること。ただし、

- ・地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(計8単位)は、必ず履修すること。

(3) 地域・国際実践力科目(読替科目)は、合計28単位以上を履修すること。なお、

○学部共通基盤専門科目、経営プログラム専門科目、及び地域・国際実践力科目で、必要単位数(それぞれ22単位、32単位、12単位)を超過して取得した単位は、地域・国際実践力科目(読替科目)の単位として読み替えることができる。

○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、地域・国際実践力科目(読替科目)の単位として読み替えることができる。

- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。

- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

- 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

- 3年次編入学生については、入学後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

- GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みまで認める。

ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

9. 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までの登録とする。
10. 卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目（認定科目）のうち、遠隔授業の科目も含む。

注3) 原則として、昼間主コースの学生は、必修科目以外の夜間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習I～IVと卒業研究は40単位制限に含まない。

プログラム専門科目（夜間主コース）
経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営103	簿記入門	4	4-0	2	前又は後	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
B経営201	組織行動論	2	2-0	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営202	経営組織論	2	2-0	2	前又は後	経営組織のマネジメントに関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるよう事例分析などを行う。
B経営203	観光情報論	2	2-0	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
B経営205	会計学	2	2-0	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
B経営206	流通原論	2	2-0	2	前又は後	製品が生産され地点に至るまでの過程を分析し考察していく。
B経営207	経営情報論	2	2-0	2	前又は後	企業経営に不可欠な情報を体系的に学習し、情報システム構築の基礎を理解する。
B経営208	消費者行動論	2	2-0	2	前又は後	消費者行動に対する様々な理論や概念を学び、課題やディスカッションを通じて実際の消費者行動を分析するとともに、消費行為に対する理解を深める。
B経営301	経営戦略論	2	2-0	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	2-0	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	2-0	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
B経営304	広告論	2	2-0	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説します。受講生の提案練習も行う。
B経営307	原価計算論	2	2-0	3	前又は後	事業体（主に企業）における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。
B経営308	税務会計論	2	2-0	2	前又は後	法人税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。

プログラム専門科目（夜間主コース）
経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営211	人的資源管理論	2	2-0	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営213	ベンチャー企業論	2	2-0	2	前又は後	経営戦略が有効なものであればベンチャー企業は競争優位を獲得できるという枠組みに基づき、ベンチャー企業のマネジメントについて、特に経営戦略を中心に解説していく。
B経営217	まちづくり地域興し論	2	2-0	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に付け、地域資源を生かした提言ができるようにする。
B経営218	マーケティング実践研究	2	2-0	2	前又は後	事例を通じて企業のマーケティング活動の内容を理解し、提示された課題に対して討議を行う。
B経営225	物流サービス論	2	2-0	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
B経営311	競争戦略論	2	2-0	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	2-0	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する予定です。
B経営313	応用簿記論	4	4-0	2	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。
B経営314	財務会計	2	2-0	2	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
B経営318	管理会計論	2	2-0	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
B経営319	数字で学ぶビジネス	2	2-0	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。
B経営320	中小企業論	2	2-0	3	前又は後	中小企業の機能と意義および中小企業の歴史、現状、今後の展望について、理論的・実証的に学ぶ。
B経営321	市場調査論	2	2-0	3	前又は後	経営やマーケティングに関連する様々な課題に対して、適切な調査方法と内容を企画し、そして、その調査の結果から意味を読み取る手法を紹介し学習する。
B経営353	実践経営学Ⅰ	2	2-0	2～4	前又は後	上場企業の経営法務(株主総会やコーポレートガバナンス等)に関する知識習得と実務的アプローチについて、実務家講師を招待して実施する講義である。
B経営354	実践経営学Ⅱ	2	2-0	2～4	前又は後	経営学に関する実践的なトピックスについて学ぶ。テーマは開講年次によって変更するので、シラバスは必ずチェックすること。
B経営355	実践経営学Ⅲ	2	2-0	2～4	前又は後	現行の会計の枠組みを学習する座学と、税理士事務所で会計事務所の社会的役割と業務内容について学ぶ職務体験としてのインターシップを組ませた講義
B経営400	卒業研究	2	0-2	4	後	大学生生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営103	簿記入門	4	2	前又は後	必修科目	B経営301	経営戦略論	2	3	前又は後	
B経営201	組織行動論	2	2	前又は後		B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
B経営202	経営組織論	2	2	前又は後		B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
B経営203	観光情報論	2	2	前又は後		B経営304	広告論	2	3	前又は後	
B経営205	会計学	2	2	前又は後		B経営307	原価計算論	2	3	前又は後	
B経営206	流通原論	2	2	前又は後		B経営308	税務会計論	2	2	前又は後	
B経営207	経営情報論	2	2	前又は後							
B経営208	消費者行動論	2	2	前又は後							

注1：簿記入門は必修

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		B経営318	管理会計論	2	3	前又は後	
B経営213	ベンチャー企業論	2	2	前又は後		B経営319	数字で学ぶビジネス	2	3	前又は後	
B経営217	まちづくり地域興し論	2	2	前又は後		B経営320	中小企業論	2	3	前又は後	
B経営218	マーケティング実践研究	2	2	前又は後		B経営321	市場調査論	2	3	前又は後	
B経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		B経営353	実践経営学Ⅰ	2	2～4	前又は後	
B経営311	競争戦略論	2	3	前又は後		B経営354	実践経営学Ⅱ	2	2～4	前又は後	
B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後		B経営355	実践経営学Ⅲ	2	2～4	前又は後	
B経営313	応用簿記論	4	2	前又は後		B経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目
B経営314	財務会計	2	2	前又は後							

注1：卒業研究は必修

プログラムの専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修

卒業要件 経営プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	14
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合科目		
		琉大特色科目・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語	8	
		第2外国語	4	
小計		26	14	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	6	2
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目（基礎科目）	4	32
		経営プログラム専門科目（応用科目）	2	
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			30
	小計		20	64
専門教育科目総計		84		
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び基幹領域
 （※上記の14単位以上には、外国語以外を10単位以上含むこと）

注1）共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

注2）第1外国語で英語を選択する場合は、「大学英語」と「英語講読演習中級」を必ず履修し、第2外国語で英語を選択する場合は、「大学英語」を必ず履修すること。

- 専門教育科目は84単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む8単位以上を履修する。

専門基盤力科目のうち、経営プログラム提供の経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)は必ず履修すること。

(2) プログラム専門科目は以下のとおり合計46単位以上を履修する。

○経営プログラム専門科目は、卒業研究(応用科目・2単位・必修)を含む38単位以上を履修する。

○経営プログラム専門科目の簿記入門(基礎科目・4単位)は必ず履修すること。

○地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I～IV(必修・8単位)を必ず履修する。

(3) 地域・国際実践力科目(読替)は30単位以上を履修する。

○学部共通基盤専門科目(8単位)、経営プログラム専門科目(38単位)及び地域国際実践力科目(8単位)を超過した分は、地域・国際実践力科目(読替)の単位として読み替えることができる。

○他プログラム・他学部提供の専門科目(教職科目含む)は、地域・国際実践力科目(読替)の単位として読み替えることができる。

4. 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。

5. 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

6. 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

7. 3年次編入学生については、入学後の2学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

8. GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

9. 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までの登録とする。

10. 卒業要件に算入できる遠隔授業の単位数は、60単位を上限とする。ただし、単位認定を受けた科目(認定科目)のうち、遠隔授業の科目も含む。

注3) 原則として、夜間主コースの学生は、必修以外の科目について、昼間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習I～IVと卒業研究は40単位制限に含まない。